

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	水産振興事業			事業番号	015-045
担当部署名	産業振興	局	農政	部	農水産 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(7) 次世代につなげる農業の促進	
			有	取組の方向性	②持続可能な農業振興			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(2)飢餓をゼロに	ターゲット	2.3,2.4	
			有	取組	農業経営の基盤強化、スマート農業の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画							
3	事業開始年度			昭和 37 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 堺市水産振興対策事業補助金交付要綱							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 堺市						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数) 堺市、沿岸、出島、浜寺の4漁業協同組合員 (正組合員数 95名)						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態) 広域化した漁場内での安全操業、また、漁港周辺、漁場の定期的な清掃の実施による漁場保全及び啓発活動等を目的とするとともに、今後予定されている第1種漁港である堺 (出島) 漁港及び石津漁港の移管に備える。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ゴミのない大阪湾での安全操業、漁業経営の安定、水域環境及び水産生物の保全のため、清掃活動に伴う人件費、清掃用具等の経費補助を行う。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等) 市内4 漁業協同組合						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 清掃活動従事者数 (延べ人数)	人	目標値	1,500	1,500	1,500		
		実績値	1,384	1,313			
		達成率	92%	88%			
当該指標を選定した理由		清掃活動従事者数の延べ人数が指標として妥当					
目標値の設定根拠・算出方法		実績に基づき目標を設定					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 漁船借上げ隻数	隻	目標値	69	75	75		
		実績値	74	73			
		達成率	107%	97%			
当該指標を選定した理由		海洋プラスチックごみ等の回収作業時に使用する漁船が指標として妥当					
目標値の設定根拠・算出方法		実績に基づき目標を設定					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水産振興事業	事業番号	015-045
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	4,301	5,349	4,688	4,397	4,689
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	4,301	5,349	4,688	4,397	4,689
14 人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	5,941	6,969	6,328	6,037	6,329

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R2	決算	4,311	4,311			R2	決算			
16 事業費内訳	堺市水産振興対策事業補助金	R2	決算	4,311	4,311		R2	決算			
		R3	予算	4,400	4,400		R3	予算			
	需用費 (消耗品費・印刷製本費)	R2	決算	51	51		R2	決算			
		R3	予算	130	130		R3	予算			
	漁業実態調査船舶借上料	R2	決算	0	0		R2	決算			
		R3	予算	95	95		R3	予算			
漁業関係団体年会費 (漁港漁場協会・捕鯨)	R2	決算	35	35		R2	決算				
	R3	予算	35	35		R3	予算				
旅費	R2	決算	0	0		R2	決算				
	R3	予算	29	29		R3	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 清掃活動従事者数 (延べ人数)	人	1,384	1,313
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,969	6,036
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	5,035	
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>近年、世界的に海洋プラスチックごみが大きな問題となっており、大阪湾においても、非常に多くのプラスチックごみが確認されている。これらの海洋ごみは、漁業の弊害となるものであり、漁獲量減少の一因にもなっている。毎年、多量のごみが浮遊・漂着等しており、漁業の操業に影響が出る。令和2年度の清掃活動従事者数は、4漁協の協力により清掃活動従事者数は、1,313人（達成率87%）であり、漁港の保全、海域環境の美化に効果をおげることができた。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>魚種が豊富な良好な漁場であり「茅渟の海」と呼ばれた大阪湾の環境が保全・回復されなければ、いずれ近海で獲れた新鮮な魚類が流通しなくなるおそれがある。非常に多くの海洋ごみが漁業の弊害となっている現状においては、SDGs17の目標14「海の豊かさを守ろう」を達成するためにも、漁場及び周辺の海域に浮遊するゴミ等の定期的な除去を行う本事業の継続は必要である。</p>
----	--